

情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会
CISPR I 作業班（第 1 回）議事要旨案

- 1 開催日時：平成 23 年 8 月 22 日（月） 15 時 00 分～16 時 15 分
- 2 開催場所：総務省 10 階 第 1 会議室
- 3 出席者（順不同）

【構成員】 兩宮主任 (NTT-AT)、堀主任代理 (ソニー)、秋山構成員 (NTT)、大槻構成員 (電技協)、長部構成員 (VCCI)、川田構成員 (JET)、黒沼構成員 (協立電子)、小松崎構成員 (パナソニックモバイル)、篠塚構成員 (NICT)、醍醐構成員 (JBMIA)、田中構成員 (CIAJ)、垂澤構成員 (NTT ドコモ)、千代島構成員 (PFU)、羽田構成員 (JQA)、濱住構成員 (NHK)、廣瀬構成員 (JEITA)、牧構成員 (JEITA)、松田構成員 (JEITA)、

【事務局】 浦賀・加賀谷・郷藤 (総務省)

4 議事概要

- (1) 事務局から配付資料の確認が行われた。
- (2) 事務局から構成員交代の説明があり、新構成員の挨拶があった。
- (3) 資料 1-1 前回議事要旨案について、事務局から修正意見の照会漏れについて説明があった。後ほど修正版を配布し、修正意見等あれば 1 週間以内に事務局まで連絡することとなった。エディトリアルな修正の後、承認された。
- (4) 資料 1-2 CISPR ソウル会議 SC/I 対処方針 (案) について、兩宮主任から説明があり、以下の議論の後承認された。
 - 垂澤構成員：無線機能付きマルチメディア機器の妨害波問題の問題点は何か。
 兩宮 主任：例えば無線 LAN 搭載の PC の EMC 試験で、それぞれ動作させた時は問題なくても、同時に動作させた時に想定外の妨害波が測定されたという事例があった。この件に関して検討を開始すべきという対処である。
 垂澤構成員：問題点があるかどうかを確認する、ということと理解した。
 千代島構成員：日米ではモジュールでの測定を認めているが、欧州の一部では両方稼動した状態での測定を推奨している。
 - 長部構成員：GENELEC で PLT の規格がもうすぐ出来る。それを EN 規格と CISPR に導入するという話が出ると思われるが、どう対処するのか。
 兩宮 主任：議論を開始することは問題ないが、進め方をどうするかは検討の余地がある。
 - 篠塚構成員：VHF-LISN が CISPR16 に盛り込まれたとして、CMAD との使い分けはどうす

るのか。

長部構成員：CISPR22 では VHF-LISN を使用することを提案予定。

- (5) 資料 1-3 CISPR ソウル会議 SC/I WG1 対処方針（案）について、廣瀬構成員から説明があり、特に異議なく承認された。
- (6) 資料 1-4 CISPR ソウル会議 SC/I WG3 対処方針（案）について、長部構成員から提案説明があり、特に異議なく承認された。
- (7) 資料 1-5 CISPR ソウル会議 SC/I WG4 対処方針（案）について、田中構成員から説明があり、特に異議なく承認された。
- (8) 資料 1-6 CISPR ソウル会議 SC/I 関連会議参加者（案）について、事務局から説明があり、特に異議なく承認された。
- (9) 次回会合は未定。

以上